

市 議 会 報 告

発行者：後援会会長 加藤進一 / 後援会事務所：稲沢市平野町2-8 Tel. 32-7199

ののべ尚昭経過報告

- 1月6日 消防出初め式
- 12日 土光杯全日本学生弁論大会・審査員(サンケイ会館)
- 13日 成人式
- 15日 議会だより編集小委員会
- 17日 予算説明会
- 19日 学生インターンシップ選考会(ウィルあいち)
(入山君、松井君の2名合格)
- 21日 市民クラブ政務調査
↓
東京都品川区、神奈川県小田原市
- 23日
- 25日 舩添要一事務所(参議院会館)訪問
- 30日 三宅川河川問題会議、東海政策研究会
- 31日 稲沢市国際友好協会理事会
市町村合併勉強会(明日の稲沢を築く会)

- 2月4日 細江茂光(岐阜市長選挙)候補激励
【東海若手市議会議員の会に推薦依頼】推薦決定
- 6日 東海政策研究会
- 7日 市町村合併講演会(一宮市)
- 11日 横地区総会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 稲沢地区区長会懇親会
- 16日 桜木区総会
- 17日 細江茂光(岐阜市長選挙)候補出陣式
箕浦弘美氏褒章記念祝賀会(名古屋市)
- 18日 委員協議会(総務委員会)
- 19日 東海若手市議会議員の会研修会
↓
三重県久居市、風力発電施設見学
- 20日
- 21日 細江茂光(岐阜市長選挙)候補応援[当選]
- 22日 議員総会、議員研修会
- 24日 裸祭り
- 28日 土地開発公社理事会

- 3月1日 定例議会(開会)
↓
- 19日
- 1日 稲西小教育後援会評議員会
稲西小地区体育振興会理事会
- 3日 平野区婦人会総会
- 5日 東海政策研究会
- 8日 稲沢西中学校卒業式
- 9日 舩添要一経済講演会(名港会館)、会談
- 10日 平野区総会
- 15日 愛知文教女子短大卒業式
岐阜県各務原市議会(浅野健司議員)傍聴
- 16日 稲西中後援会報告会
- 17日 池部区総会
- 18日 東海政策研究会
- 20日 稲西小卒業式、体育振興会緊急理事会
- 21日 五郷区長会
- 23日 新下津公民館等竣工式
- 27日 ISO14001 認証取得記念事業
- 28日 衛生議会、平野区陳情

会員の皆様

陽春の日々

いかががお過ごしでしょうか



桜も満開になり、春の訪れを感じるようになりました。会員の皆様におかれましても、爽やかな日々をお過ごしのことと思います。

日本政府は長引く不況、失業率の増加など大きな問題をかかえる中で構造改革に取り組んでいます。国民に痛みをともなう改革を進めていく中で、国会では与野党含めて様々な疑惑の渦に包まれています。その疑惑を解明しないまま多くは闇に消えていきます。国民に対し、情報公開、説明責任を国会議員、各政党がしっかり果たすべきではないでしょうか。このままでは政治不信が募るばかりです。早急に疑惑の解明をして頂きたいと思います。

さて、稲沢市も2002年度の予算が決定し、活力ある10万都市を目指してまいります。その象徴ともなる都市基盤整備も着々と完成してまいりました。下水道事業も起動にのり、区画整理事業も徐々に形になってまいりました。情報公開ナンバー1都市として、市民の皆様とともに希望あふれる稲沢市にしていきたいと思います。

今後、地方分権が進み地方議会の改革が余儀なくされます。地域活性化のため全力で頑張っております。会員の皆様の変わらぬご支援とご理解をお願いいたします。

市議会議員 野々部尚昭

3月定例議会

3月1日に開会し、19日間の会期で平成14年度一般会計当初予算案、平成13年度一般会計補正予算案、稲沢市議会の議員の定数を定める条例案など38議案を原案通り可決しました。

なお、新年度一般会計当初予算の歳入歳出総額は271億3000万円、特別会計は197億441万2千円、企業会計は83億9920万4千円の総額552億3361万6千円でスタートすることになりました。

また、本年度一般会計補正額は補正予算第5号で7億947万4千円を歳出歳入予算総額の289億3764万2千円に追加したもので、歳入歳出予算総額を296億4711万6千円としました。その後、補正予算第6号で1億1568万4千円を歳出歳入予算総額の296億4711万6千円に減額し、歳入歳出予算総額を295億3143万2千円に再度補正しました。

同時に固定資産評価審査委員会委員の選任についての同意案についても可決しました。

また、一般質問を行った議員は10名でした。(後にののべ尚昭議員の一般質問の詳細を報告)

【条例制定(議員発議)】

- ◎ 稲沢市議会の議員の定数を定める条例を制定しました。

【条例制定】

- ◎ 稲沢市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例を制定しました。

【条例改正】

- ◎ 稲沢市職員の公益法人等への派遣に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市地区市民センター設置条例の一部を改正しました。

- ◎ 稲沢市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市手数料条例徴収条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正しました。

今まで乳幼児の入院医療費の助成は0歳児から3歳未満児でした。今回の条例改正で6歳未満児にまで助成が拡大されます。ののべ議員が何度も一般質問で提案してきた問題でもあり、子育て支援策一歩前進と言えます。

- ◎ 稲沢中島都市計画稲沢下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市農業委員会の選挙における委員の定数及び選挙区並びに各部会の委員の定数に関する条例の一部を改正しました。

【意見書】

- ◎ 安心の医療制度への抜本改革を求める意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総大臣、厚生労働大臣に提出しました。
- ◎ 雇用の危機的事態の突破を求める意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総大臣、厚生労働大臣に提出しました。
- ◎ 県立高等学校再編整備基本計画に伴う高校統廃合に関する意見書を愛知県知事、愛知県議会議長、愛知県教育委員会に提出しました。

【同意】

- ◎ 固定資産評価審査委員会委員
… 伊藤浩(平野町)
… 服部貞夫(井掘下郷町)
… 古川忠造(片原一色町)

《 議会を傍聴して！ 》

3月5日(月)、ののべ尚昭議員の一般質問の時間(10:40~12:00)に後援会の皆さんを中心に29名の方が傍聴にみえました。今回は20代の若い世代の方や学生が多く傍聴にみえました。ののべ議員の政治参加の呼びかけが徐々に稲沢市議会に広がりつつあります。今回も傍聴者の方から議会の生の声を届けて頂きました。皆様も是非一度足を運びください。

- 私は今まで議会の傍聴というものをしたことがなく、このインターンシップに参加して初めて傍聴させて頂きました。まず議場に入る前の段階において、私はこんなに気軽に傍聴することができるのかと感じました。そして議場に入ってから議員の方には女性がいらっしゃるのに行政側には一人もおられないということに驚きました。政治や行政の世界はまだまだ男性中心の社会なのかなあと思いました。質疑応答の中で印象に残ったことは、ののべ議員の質問に対する行政側の対応でした。これでは何のために朝早くから市民の代表者や市の職員の幹部の方々が集まっているんだ?と思われるほど質問に対しての返答は曖昧で、何かこう、体の中にふつつと沸いてくる憤りのようなものを感じてしまいました。

ののべ議員の一般質問のテーマは大きく分けて二つでした。一つは教育改革(学校改革)について、もう一つは少子化対策についてでした。その中で、学校の2学期制の導入を打ち出す積極的な考え方や、今現に生活を営む子どもをいかに育てるかが重要であるという現実的な考えを述べる姿に胸を打たれました。

インターンシップの期間は短かったのですが、ののべ議員に受け入れてもらって本当によかったと思いました。ののべ議員、これからのご活躍を期待しております。でも、あんまり頑張りすぎないで下さい。応援しています。

南山大学法学部1年 松井規吉・23歳

- 稲沢市議会の傍聴は3回目になります。今回の質問項目のうち、私は「教育改革(学校改革)について」に深い関心を持ちました。

今日様々なメディアで“ゆとり教育”の是非が盛んに論じられています。また、母が学校事務職をしていることもあって、私の家庭でも時々教育問題が話題になります。このように普段から教育問題について多少なりとも触れているので、今回の質問は大変興味深いものでした。今日の教育は、従来の「学歴社会」型モデルを変えて行かなければならない時期

今回の傍聴者数

29名

にきています。しかし、どのような教育のあり方がふさわしいのか、その明確な答えが見えていない過渡期であるというのが現状だと思います。

ののべ議員は「学歴社会から学習歴社会へ」という目標を打ち出し、早くから教育改革に向けて模索を続けてこられました。過去の市議会報告を見れば、ののべ議員が教育問題に深い関心を持ち、提案を重ねてこられたことがわかります。しかし、ののべ議員の熱意に対し、行政側が誠実に応えているようには思えません。ののべ議員が以前に行った問題提議に対するその後の取り組みもほとんど進展していないという印象でした。ののべ議員の実行を求める声に、行政側はもっと真摯に伝えて欲しいと思います。

今回、私は2人の友人と一緒に傍聴させて頂きました。また、新しいインターン生も加わり、傍聴席には20代前半の若者が多く見られました。このような傍聴席の光景は他の議会ではなかなか見られないのではないのでしょうか。

ののべ議員の質問は、未来への可能性を感じさせます。しかし、単なる理想論に終始するのではなく、地道な調査に裏付けされた現実的な提案をされています。それが私たち若者の心を引きつけるのだと思います。今後もなお一層のご活躍を期待しています。

名古屋大学法学部3年 岡田正大・21歳

- 今回も稲沢市議会を傍聴させて頂きました。私が議会を傍聴するのは3回目ですが、今回の質問は普段に増して内容の濃い質問であったと思います。質問の内容は教育改革(学校改革)についてと少子化対策についての2点でした。教育改革についてはさらに7項目に分けて、少子化対策についても3項目に分けて質問がなされました。また、質問一つ一つも漠然とした抽象的なものではなく、個別的就体的でした。

ただ一言でどうなっているのかと質問するのではなく、現状を把握しさらに色々な視点から想定される問題点を挙げた上での質問ばかりでした。特に、教育改革についての中の「評定」のあり方については、生徒の立場にたって考えてみなければ分からない問題点を挙げておられました。政策を考え、それを

